

第2回 横浜市中区地区センター指定管理者選定委員会会議録	
日 時	令和3年8月11日(水) 12時50分～16時45分
開 催 場 所	横浜市開港記念会館7号室
出 席 者	佐藤響子委員長、阿部倫三委員、井上圓三委員、近藤恵子委員、古本悦子委員(計5名)
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開(傍聴者なし)
議 題	1 面接審査 2 指定候補者の選定
決 定 事 項	1 会議の公開・非公開について 面接審査は公開し、審議は非公開とすること 2 指定候補者の選定について 各施設の指定候補者を次のとおりとすること (1) 中本牧コミュニティハウス及び上台集会所 一般社団法人中区民活動支援協会 (2) 竹之丸地区センター 一般社団法人中区民活動支援協会 (3) 野毛地区センター 一般社団法人中区民活動支援協会 (4) 本牧地区センター 株式会社清光社
議 事	1 面接審査 (1) 中本牧コミュニティハウス及び上台集会所 【応募団体】一般社団法人中区民活動支援協会(現指定管理者) ア プレゼンテーション(10分) 応募団体から、団体概要・事業計画等について説明 イ 質疑応答(20分) (委員) 両施設について、避難訓練は、利用者も訓練に参加しているのか。 (団体) 職員のみを対象に実施している。 (委員) 地震や台風の他、事件の際なども避難が必要になるが大丈夫か。 (団体) 広く防災・防犯の想定で避難誘導を重点的に行っている。 (委員) こどもの施設利用はどのくらいか。 (団体) 中本牧は隣に子供の遊び場もあり、プレイルームもあるので小さいお子さんの利用もあるが上台は会議室だけなのでお子さんの利用は非常に少ない。 高齢者が多い。 (委員) 定期清掃は年5回とのことだが、それ以外は日常清掃か。 (団体) 美化職員がおり、8時～11時まで毎日清掃している。定期清掃は床のワックスがけ等大規模なものとなる。

(委員) コロナに関して、利用者が退出時に消毒していくとのことだが、その後はどうか。

(団体) 夜間に職員が消毒を実施している。

(委員) 自主事業をいろいろとやられているが、これを継続して利用の増加は見込めそうか。

(団体) 人気がある講座がかなりあり、そういったものは継続して行っている。

(委員) 広報についてホームページをリニューアルしたとのことでは拝見したが、利用予約の空き状況が出てこなかった。また、ブログの更新が 2018 年で止まっているがどうなっているか。

(団体) 空き状況については、現状、電話と来館での受付を行っており利用者も高齢者が多いこともあって電話や来館のニーズが高いため、ホームページには載せていない。ブログについては更新していなかった。

(委員) P14 の人件費のところに「マルチジョブ化」とあるが、どのような工夫で、どのような費用対効果があるのか。

(団体) 美化スタッフの勤務は 8 時～11 時だが、それ以降は通常の運営スタッフにも清掃をしてもらうことで、本来美化スタッフが丸 1 日いてもらうところを朝だけにすることで経費節減している。

(委員) 「毎年ゼロベースで」とあるが、PDCA が前年の改善というものであるならば、意味が合わないと思う。(意見)

(委員) 共同購入による経費縮減とあるが行っているか。

(団体) 例えば検温器などは協会で一括購入し各施設に配置している。
現状やり切れてはいないが、今後進めたい。

(委員) これから進めるのであれば、P14 の上にあるように、市内業者の活用を第一に、地域経済の活性化に配慮と書いている部分を踏まえてやるように。

(2) 竹之丸地区センター

【応募団体】 一般社団法人中区民活動支援協会 (現指定管理者)

ア プレゼンテーション (10 分)

応募団体から、団体概要・事業計画等について説明

イ 質疑応答 (20 分)

(委員) 図書コーナーがあるが、貸し出しはどのくらいか。

(団体) 蔵書は 19,000 冊あるが、1 人 1 回 6 冊を上限とし、週に 100 冊程度貸し出している。

(委員) 体育室は空調故障か何かで貸し出していなかったと思うが。

(団体) 体育室は換気窓の開閉が出来なくなっており換気が出来なかったため、利用を休止していたが、昨年 12 月に修理し、窓が開けられるようになった。ただし、窓を全開にして換気をする必要があるため、空調が入れられなくなった。この暑さの中で利用団体には、利用を少し自粛していただいている。

(委員) P4 の勤務体制だが、美化スタッフは 7 時半～11 時となっているが他の施

設とは違うのか。

(団体) 当施設は規模が大きいので、また、消毒等コロナの対応もあり、勤務時間を他より 30 分長くしてもらっている。

(委員) P14 の支出計画の中で「蛍光灯の大幅な削減」とあるが蛍光灯そのものを減らすのか。

(委員) 以前は、電気代を減らすため、蛍光灯をとところどころ抜いていたが、照度が足りなくなっていた。今はLED化を進めている。

(委員) 個人情報の適切な廃棄とはどういうものか。シュレッダー処理か。

(団体) 利用者情報を紙ごみで出すのではなく、産廃業者に溶解を依頼している。シュレッダーは厳密に言えば復元が可能ということがあって、密閉した上で溶解対応をしている。

(委員) 障害者の方の事業参加への配慮とはどういうことか。

(団体) バリアフリー化もあるが、ケアプラザにも相談しながら、障害者の方の事業への参加を検討している。送迎という意味ではない。

(委員) 老朽化した施設で限られた予算で努力しておられるが、施設の必要性を訴えるならばどこか。

(団体) まさに今、先月 5 日に電気設備が出火したため、ポンプ類が止まってしまう、空調も止まりトイレも使えなくなってしまった。トイレは復旧したが、空調はまだ復旧しておらず、そういう状況でも「使いたい」という声が絶えない。改めて市民にとってニーズの高い施設だと実感している。

(3) 野毛地区センター

【応募団体】 一般社団法人中区民活動支援協会（現指定管理者）

ア プレゼンテーション（10 分）

応募団体から、団体概要・事業計画等について説明

イ 質疑応答（20 分）

(委員) PC やスマホでの予約はどの程度便利になるのか。

(団体) 高齢者にとっては、やはり電話がよいと思う。

6 月に行ったアンケートでは、若い世代はPC やスマホでの予約のニーズが高く 40% が希望している。

(委員) 工芸室とはどのような利用をするものか。

(団体) 利用を限定してはいない。通常の会議の他、楽器を弾く、絵を描く、布でお花を作るなど幅広く利用されている。料理室も利用を限定していない。

(委員) 料理室の利用設備や利用内容は。

(団体) 食器や調理器具などもある。現在はコロナもあり、料理目的での利用はあまりない。通常はふれあい給食や料理教室等でも使っている。野毛の有名料理店の店主にも講師として来てもらっている。

(委員) 緊急対応備品としての「防犯グッズ」とは何か

(団体) 地域の特性もあり、防犯には気を使っていて、さすまたなどの話も出たが、

そういうものも必要と考えている。

(委員) 地域の連携促進として、連合町内会・民児協・社協・福祉団体の活動とあるが具体的な活動は。

(団体) それぞれの取り組みに対し、場を提供することかと思っている。事業啓発パンフなどの掲示にも協力している。区の主催や委託以外に減免の対象とはならない。

(委員) キャッシュレス化はどう考えるか。

(団体) キャッシュレス化は難しいと考えている。クレジットカードで決済するほどの金額ではないが、交通系 IC カードは便利に利用できそうなので検討はしたい。

(委員) 自主事業報告書の延べ参加人数は年間か。

(団体) 年間である。令和 2 年度は後半しか事業が出来ず、63 事業で 4,290 人という実績だが、例年だと 2 万人以上の参加がある。

(委員) 事業の柱となるのは貸館業務と自主事業のどちらか。

(団体) 収入割合からすると貸館業務が大きい。

(委員) 管理している他の施設と比べて野毛の弱い所強い所は。

(団体) 野毛は観光地にあり、地域の方の地元愛が強いが後継者がいない。サポートの必要性を感じる。利便性がよい点はアピールポイントと考えている。

(委員) 和室の利用率が低い、机や椅子を持ち込むとはどういうことか。

(団体) 単に和室としてのみ使うのではなく、机や椅子を持ち込めるようになっており、通常の会議室のようにも使える。中にはヨガなどをやっていたり楽器を弾いたりもしている。

(委員) 和室を作った趣旨は、本来そのような何でも使えるということではなかったと思う。和室本来の使い方も考えるべきだと思う。

(団体) お茶や着付けなど和室本来の使い方もしており、その他も含め両方の使い方が出来るというもの。

(4) 本牧地区センター

【応募団体】株式会社清光社（現指定管理者）

ア プレゼンテーション（10 分）

応募団体から、団体概要・事業計画等について説明

イ 質疑応答（20 分）

(委員) P 6 の「アウトリーチ活動」とは何か。

(団体) 我々が外に出て社会福祉施設などに広報活動をするというもの。

(委員) 増収策として P 12 にある目的外使用許可による新規サービスとは何か。

(団体) 今回追加したのは、デジタルサイネージ広告であり協力会社からの収入を得るもの。

(委員) 自主事業計画に関し、コロナ渦では高齢者が閉じこもりがちになる。椅子に座ったままで出来る健康運動などもあるが。

(団体) コロナ渦で、当社としては、基本的に外に出ていく事業を考えている。近隣の山頂公園と連携している。

(委員) 社会貢献として、市等への寄付も行っているが、利用者への還元はどう考えるか。

(団体) 利用者に対しては、余剰金が発生した場合、それを備品購入に充て、還元する考えである。

(委員) みどりアップ計画との関係性は。

(団体) みどりアップ計画の中で「みどりと触れ合う」という目的があり、本牧地区センターの自主企画事業で計画し、山頂公園で展開しているもの。

(委員) P 7にある母の日のお母さん、父の日にお父さんへの割引とあるが、その日にお母さん、お父さんに来させる意図は何か。

(団体) それぞれの記念日に割引をしたいという提案である。

(委員) 他の運営施設と比較し、当センターの強みや弱みは何か。

(団体) 当施設は公の施設との連携が強い。本牧だけでなく中区全体を盛り上げるような活動をしているのは、当社管理の他の施設には無いものである。

本牧地区センターは施設の稼働率も高いため、一般の施設利用を妨げないよう、自主事業数を抑えているので 12 の課題をいかに組み込むか頭を悩ませている。

(委員) 緊急時の避難経路はどう考えているか。

(団体) 当社が避難経路図を作成する際は、災害マップの土砂警戒区域を確認し、そこを外して避難所までの経路を考えている。

2 応募団体の財務状況及び資格要件の照会結果について報告

事務局から、各応募団体について、市税等の納付状況を確認し、暴力団排除措置に伴い神奈川県警に照会した結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、税理士の委員による財務状況審査の結果、応募団体の財務状況は、指定管理期間中の施設の管理運営に支障はないと判断された旨を報告した。

3 指定候補者の選定

委員による評点を集計した結果、すべての応募団体が最低評価基準（480 点）を満たしていたため、各施設の指定候補者を次のとおりとすることが決定された。

(1) 中本牧コミュニティハウス及び上台集会所

一般社団法人中区民活動支援協会（得点：662 点／850 点）

(2) 竹之丸地区センター

一般社団法人中区民活動支援協会（得点：679 点／850 点）

(3) 野毛地区センター

一般社団法人中区民活動支援協会（得点：663 点／850 点）

(4) 本牧地区センター

株式会社清光社（得点：686 点／850 点）

	4 その他 選定経過・結果を区長に報告することについて、了承された。
資 料 ・ 特 記 事 項	1 資料 なし 2 特記事項 なし